

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 29 年 8 月 29 日現在

機関番号：43608

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2016

課題番号：26380826

研究課題名(和文)新潟県社会福祉史の総合的研究

研究課題名(英文)General study of the history of Niigata social welfare

研究代表者

矢上 克己(Yagami, Katsumi)

清泉女学院短期大学・その他部局等・教授

研究者番号：00329442

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,100,000円

研究成果の概要(和文)：私どもは「新潟県社会福祉史の総合的研究」というテーマで、平成26年度から同28年までの3年間調査研究を行った。

具体的には児童保護、障害者保護・医療保護、救護・経済保護・軍人援護、社会事業行政、方面事業、司法保護事業等の分野について1918年から1932年までの展開について、新潟県立図書館をはじめ県各市町村の図書館および新潟県立公文書館をはじめその他の県内の公文書を扱っている資料センターに、各種施設や団体などを訪問し、社会事業関連資料を発掘し、資料分析とまとめを行い、研究目標をほぼ達成できた。

しかし、研究分野の細目には分析とまとめまでに至らないものがあり、これは今後の研究課題としたい。

研究成果の概要(英文)：We conducted research called "a general study of the history of Niigata social welfare" on a theme for three years from 2014 to 2016.

Specifically, about a field of child protection, person with a disability protection, medical care, relief, economic protection, officer protection, social work administration, area business, the judiciary protection, we visited an official document center of other prefecture and various welfare institutions or groups about development from 1918 through 1937 including library, Niigata of each prefecture cities, towns and villages prefectural archives building including a Niigata prefectural library and found a social work related document a summary and was able to almost achieve a study aim.

However, there is the thing not to reach by analysis and a summary a little of the research field and wants to do this with a future problem.

研究分野：社会福祉史

キーワード：新潟県 社会事業史 児童保護 障害者保護 医療保護 救護 経済保護 社会事業行政

## 1. 研究開始当初の背景

(1)新潟県の社会事業史研究については、星野吉曹、山下安雄、桜井慶一、矢上克己等の先行研究があるが、社会事業の個別の分野史の研究のみで通史的、体系的な研究はない。

(2)星野が「地域に於ける社会福祉形成史の総合的研究」(科研費研究)で新潟県を担当し、社会事業施設・団体の確認と量的展開についてまとめたが、社会事業施設・団体の経営主体、職員数、事業内容とその効果、年間経費、資産及び社会事業実践に関わった人物などの実態については今後の課題として残されていた。

## 2. 研究の目的

(1)前述したように、新潟県においては、社会事業の個別の分野史研究については散見されるが通史的・体系的な研究はない、そこで本研究では新潟県の社会事業の通史的・体系的な研究を目的の一つとする。

(2)1918年～1937年までの新潟県における社会事業施設・団体の経営主体、職員数、事業内容とその効果、年間経費、資産及び社会事業実践に関わった人物などの実態について総合的な把握すること。

(3)吉田久一や池田敬正による日本の社会福祉史(全体史)との関連で、新潟県社会事業史(社会福祉史)の特異性や全体史との共通性も明らかにすること。

## 3. 研究の方法

(1)先行研究を踏まえ、新潟県の社会事業行政資料、新潟県の社会事業雑誌、施設、機関、団体の所有する資料の調査、社会事業に携わった寺院、教会、団体、個人への調査及び市町村史、地域新聞等を資料としてまとめる。その際、研究スタッフがそれぞれの専攻に関連した分野を扱い共同研究を進める。

(2)現存している社会福祉施設や団体及びかつて社会事業を実践していた寺院、教会、団体、個人への訪問調査により資料収集を行う。

(3)上記で得られた資料を分析するが、まず、それぞれの社会事業分野ごとにその形成と展開過程を分析し、それらを全体として統合し、新潟県社会福祉の形成と展開過程を究明する。

## 4. 研究成果

(1)本研究では新潟県内の社会事業関係資料の発掘を、平成26年度は下越を中心に、平成27年度は中越を中心に、平成28年度は上越を中心に、新潟県内の県立図書館、公文書館および各市町村の図書館および市町村役場

等を尋ね、資料調査を行ったが、そうした中で多くの社会事業関係資料を発掘することができた。

(2)現存している社会福祉施設や団体及びかつて社会事業を実践していた寺院、教会、団体、個人への訪問調査により資料収集を行い、多くの社会事業関係資料を収集することができた。

(3)上記で得られた資料をもとに、まず、筆者らはそれぞれの専攻を踏まえて、児童保護、障害者保護・医療保護、救護・経済保護、社会事業関連の4分野、50細目にわたって、その形成と展開過程を分析しまとめを行い、ほぼ研究目標を達成できた。

(4)先述の星野により新潟県の社会事業施設と団体の量的把握がされたが、質的、内容的には課題とされていた。筆者らの研究により、各分野の研究が進められるなかで、社会事業施設、団体の経営主体、職員数、事業内容とその効果、経費、資産および社会事業実践に関わった人物などの実態把握ができた。

(5)今後の課題として、新潟県社会事業の研究分野、50細目中40細目は既に完了し、その他の10細目も継続してまとめの作業を行っている。

したがって、分野史については10細目が課題として残っており、これをカバーし、全分野を統合して、新潟県の通史的・体系的な研究としてまとめることが今後の研究課題となる。

(6)さらに、3年間にわたる新潟県社会事業関係資料調査のなかで、市町村の戦前の公文書が存在することが判明し、その中に、各市町村の社会事業関係の資料が含まれており、これについては新潟県内の一部の市町村のみで、全県に及んでいない。地域の社会事業史を研究する場合、県レベルではなく、市町村レベルでの実態解明が不可欠となる。今後は市町村役場を訪ね、戦前の公文書資料を丹念に調査し、資料収集し、分析することが2つ目の研究課題となる。

(7)3年間にわたる新潟県内を中心とする社会事業関係の資料調査により多くの資料を収集したが、これを基に『新潟県社会事業史文献目録』の作成を予定している。また、平成27年および同28年の本研究の成果をまとめて出版を予定している。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

### (1)雑誌論文

橋本理子「児童保護から児童愛護への変容 - 新潟県児童保護連盟の展開を事例として

- 」東京社会福祉史研究、査読有、2017、  
pp.27-39

矢上克己「新潟県における釈迦時事業の展  
開」清泉女学院短期大学研究紀要、査読有、  
第35号、2017、pp.88-124

矢上克己「新潟県における方面事業の展  
開」(1)草の根福祉、査読有、第46号、2016、  
pp.44-72

皇中耕「新潟県における救護法の運用と社  
会事業助成会」草の根福祉、査読有、第46  
号、2016、pp.13-31

橋本理子「新潟県における虚弱児保護の成  
立と変容」草の根福祉、査読有、第46号、  
2016、1-12

大塚良一「『長女ミキのメモ』を基に大森  
隆硯研究」草の根福祉、査読有、第46号、  
2016、pp.32-43

石坂公俊「戦前新潟県における季節保育所  
の保育実践」草の根福祉、査読有、第46号、  
2016、pp.73-81

橋本理子「愛国婦人会による社会事業 - 新  
潟県支部の展開を中心に - 」草の根福祉、査  
読有、第45号、2016、pp.1-14

矢上克己「新潟県における原始蓄積期の窮  
乏状況(1)」草の根福祉、査読有、第45号、  
2016、pp.58-69

皇中耕「新潟県における社会事業の形成に  
関する考察 - 組織化と思想の動向を中心  
に - 」草の根福祉、査読有、第45号、2016、  
pp.15-30

皇中耕「戦時下新潟県における農村隣保事  
業の展開」地域社会福祉史研究、査読有、第  
6号、2015、pp.5-19

皇中耕「戦時下新潟県における職業行政 -  
職業保護と労務動員 - 」中国四国社会福祉史  
研究、査読有、第14号、2015、pp.3-8

大塚良一「『長女ミキのメモ』を基にした  
大森隆硯研究 - 高田盲学校創始者大森隆  
硯の空白の6年を探る - 」草の根福祉、査読  
有、第45号、2016、pp.18-33

荻野基行「逢坂信吾と新潟県における廃娼  
決議後の運動」草の根福祉、査読有、第45  
号、2016、pp.47-57

矢上克己「新潟県における協和事業の展開  
- 新潟県協和会の動向を中心に - 」草の根福  
祉、査読有、第44号、2014、pp.98-107

皇中耕「新潟県における『生業貸付』事業  
の展開」草の根福祉、査読有、第44号、2014、  
pp.12-24  
〔雑誌論文〕(計16件)

#### (2) 学会発表

皇中耕 シンポジウム「新潟県における女  
工保護組合の展開と女工保護の論理」第45  
回社会事業史学会、2017年5月14日、長野  
大学(上田市)

矢上克己「新潟県における社会事業の展  
開」第45回社会事業史学会、2017年5月13  
日、長野大学(上田市)

矢上克己「新潟県における方面事業の展開  
(1)」第16回地域社会福祉研究会連絡協議  
会、2016年11月19日、淑徳大学(東京)

矢上克己「新潟県における原始蓄積期の窮  
乏状況(2)」第16回北信越社会福祉史学会、  
2016年11月5日、金城大学(白山市)

橋本理子「社会事業から厚生事業へ - 新潟  
県児童愛護運動と愛国婦人会新潟県支部に  
よる社会的事業を事例として - 」東京社会福  
祉史学会第107回例会、2015年12月19日、  
専修大学(東京)

矢上克己「新潟県における原始蓄積期の窮  
乏状況(1)」第15回北信越社会福祉史学会、  
2015年11月7日、清泉女学院短期大学(長  
野市)

橋本理子他6名「新潟県における愛国婦人  
会による社会事業 - 支部創設から1937(昭和  
12)年まで - 」第62回日本社会福祉学会秋  
季大会、2014年11月30日、早稲田大学(東  
京)

荻野基行「新潟市立有明療養所の創設期に  
ついての基礎的研究」第16回立正大学社会  
福祉学会、2014年11月9日、立正大学(熊  
谷市)

矢上克己「新潟県における協和事業の展開  
- 新潟県協和会の動向を中心に - 」第14  
回北信越社会福祉史学会、2014年11月8日、  
金城大学(白山市)  
〔学会発表〕(計9件)

#### (3) 図書

矢上克己編『新潟県社会福祉史の基礎的研  
究』本の泉社、2014年、327頁  
〔図書〕(計1件)

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況（計 件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

矢上 克己 (YAGAMI, Katsumi)  
清泉女学院短期大学・幼児教育科・教授  
研究者番号：00329442

### (2) 研究分担者

石坂 公俊 (ISIZAKA, Kimitosi)  
高崎健康福祉大学・健康福祉学部・講師  
研究者番号：10438757

大塚良一 (OTSUKA, Ryouichi)  
東京成徳短期大学・その他部局等・教授  
研究者番号：60455011

荻野 基行 (OGINO, Motoyuki)  
東京福祉大学・社会福祉学部・講師  
研究者番号：60521573

畠中 耕 (HATAKENAKA, Kou)  
神戸医療福祉大学・社会福祉学部・準教授  
研究者番号：70348126

橋本 理子 (HASHIMOTO, Ayako)  
城西国際大学・福祉総合学部・助教  
研究者番号：70567247

### (3) 連携研究者

( )

研究者番号：

### (4) 研究協力者

吉田 博行 (YOSHIDA, Hiroyuki)